

秋の叙勲受章  
おめでとうございます



11月3日付けで秋の叙勲が発令されました。本町関係では、旧御荘町議会議員を10年余り務め、また、愛媛県議会議員を2期8年務められた猪野武典氏(中浦)が、地方自治の分野において顕著な功績があったとして旭日双光章を受章されました。猪野氏の晴れの受章を心からお喜び申し上げます。



平成27年春から着手している愛南町新庁舎の建設工事現場を清水雅文町長や岡田敏弘副町長が視察しました。新庁舎は、平成28年3月末に完成予定です。(11/9)



四国4県の「四国遍路」が平成27年4月、文化庁の日本遺産に認定されたことを受け、広見地区の古宅常会が同地区にある「古宅大師堂」前に記念碑を建てました。



「愛南町小・中学校音楽発表会」が御荘文化センターで開催され、町内の児童・生徒が趣向を凝らした合唱や合奏を披露しました。(11/18、19)



南宇和交通安全協会城辺支部が、年末年始の交通安全を祈願して、愛南警察署の玄関前に「ジャンボ門松」を設置しました。門松完成後には引き渡し式が行われ、徳永鉄則愛南警察署長から倉田政夫支部長に感謝状が贈られました。(11/19)



あ  
ん  
な  
ん  
の  
お  
も  
て  
な  
〜  
し

写真  
5

## 11/28 スイーツでおもてな〜し

愛南町のご当地キャラクター「な〜しくん」をモチーフに、地元特産品を使い、お土産用に開発したスイーツが楽しめる「な〜しくんのおもてな〜しスイーツフェスタ」が、ホテルサンパールで開催されました。

昨年に続き2回目となる今年の「スイーツフェスタ」には、町内の6業者から新開発の6品を含む33種類のスイーツが出品されました。スイーツはバイキング形式で楽しむことができ、午前、午後の部に計約120人が参加して「な〜しくんのチョコムース」や「な〜しくん印の焼きドーナツ」など、出品者が試行錯誤して完成させたおもてな〜しスイーツを堪能しました。

また、スイーツ親方として知られる芝田山親方(第62代横綱大乃国)が「ごつつあんインタビュー」や「食レポクイズ」などで軽快なトークを披露し、会場を盛り上げました。

## 本日!海日和!! vol.62 「猿?、それとも達磨?」



ダルマオコゼの顔

今年の干支である申にちなんで「モンキーフィッシュ」と呼ばれる魚を紹介したい。

英語でモンキーフィッシュと名前がついたのは、顔が猿に似ているからだそうだ。私にはどう見ても猿には見えないのだが、皆さんはいかがだろうか。それ以前に、どこが目で、どこが口かさえ分からない人も多いかも知れない。

頭が大きくずんぐりとした体をしているので、日本ではダルマオコゼと呼ばれている。私には、こちらの方がピンとくる。15cmほどの小さな魚で、岩のように動かず目の前を通るエビや小魚を食べている。砂地にポツンと落ちている小石の正体が、実はダルマオコゼだったりすることもある。

白身のおいしい魚らしいが、魚屋の店頭に並ぶことはない。捕まえようにも背びれには猛毒をもっている。ダルマオコゼだけに手も足も出せない魚である。

(撮影地:小浦)

愛南サンゴを守る会 西尾知照

写真  
6

## 12/6 古代の暮らしに想いを馳せて

一本松郷土資料館などを会場に「あいなん遺跡ウォッチング」が開催されました。

一本松地域にある「広見遺跡」では遺物の表面採取が行われ、猪野琴海さん(城辺小4年)が約2万年前のものと思われる貴重な「ナイフ型石器」を発見するなど、参加者は石器片や土器片を採取しました。また、石器作製体験もあり、参加者は古代の暮らしに想いを馳せながら楽しい1日を過ごしました。

HOME  
OWN  
PLANT



写真1 写真2  
11/14,15 愛南町のおもてなし  
癒しのへんろ道を歩こう

癒しの里、四国のへんろ道を歩く「トレッキング・ザ・空海あいなん」が2日間にわたり開催されました。あいにくの雨模様となった1日目の『松尾坂へんろ道を歩こう』には約100人が、2日目の『柏坂へんろ道を歩こう』には、約170人が参加しました。

参加者は、各所に設けられた接待所で豚汁や焼き芋、みかんなど、地元住民の方々の笑顔あふれる「お接待」を受けながら楽しくへんろ道歩きを堪能しました。

写真3  
11/25 本物の芸術に  
触れる

次代の文化の担い手となる子どもたちに、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することを目的とした「文化芸術による子どもの育成事業」の一環で、大蔵流茂山千五郎家の狂言が城辺小学校体育館で行われました。

城辺小の全校児童と保護者などが鑑賞した公演では「附子」、「蝸牛」が披露され、また、家の中に大きなキノコが次々と生え、それらがいたずらをする様子を描いた「菌」では、6年生8人がキノコ役を熱演しました。

写真4  
11/29 伝統を受け継ぐ  
勇ましい舞

正木地区に伝わる古式ゆかしい伝統の舞「正木の花とり踊り」（県指定無形民俗文化財）が、正木権現堂、歓喜光寺境内、旧庄屋蕨岡家の庭の3か所で披露されました。

大勢の観客が見守るなか、雪輪笹紋の袖無上衣に裁着袴、赤い鉢巻といった出で立ちの踊り手が、鉦や太鼓のリズムに合わせ「エイ、ヤー」と刀や鎌を振るって舞いました。